

6-8 富士川・駿河湾地方における地殻変動観測（その32）

Crustal Movement Observation in the Fuji River and the Suruga Bay Area (Part32)

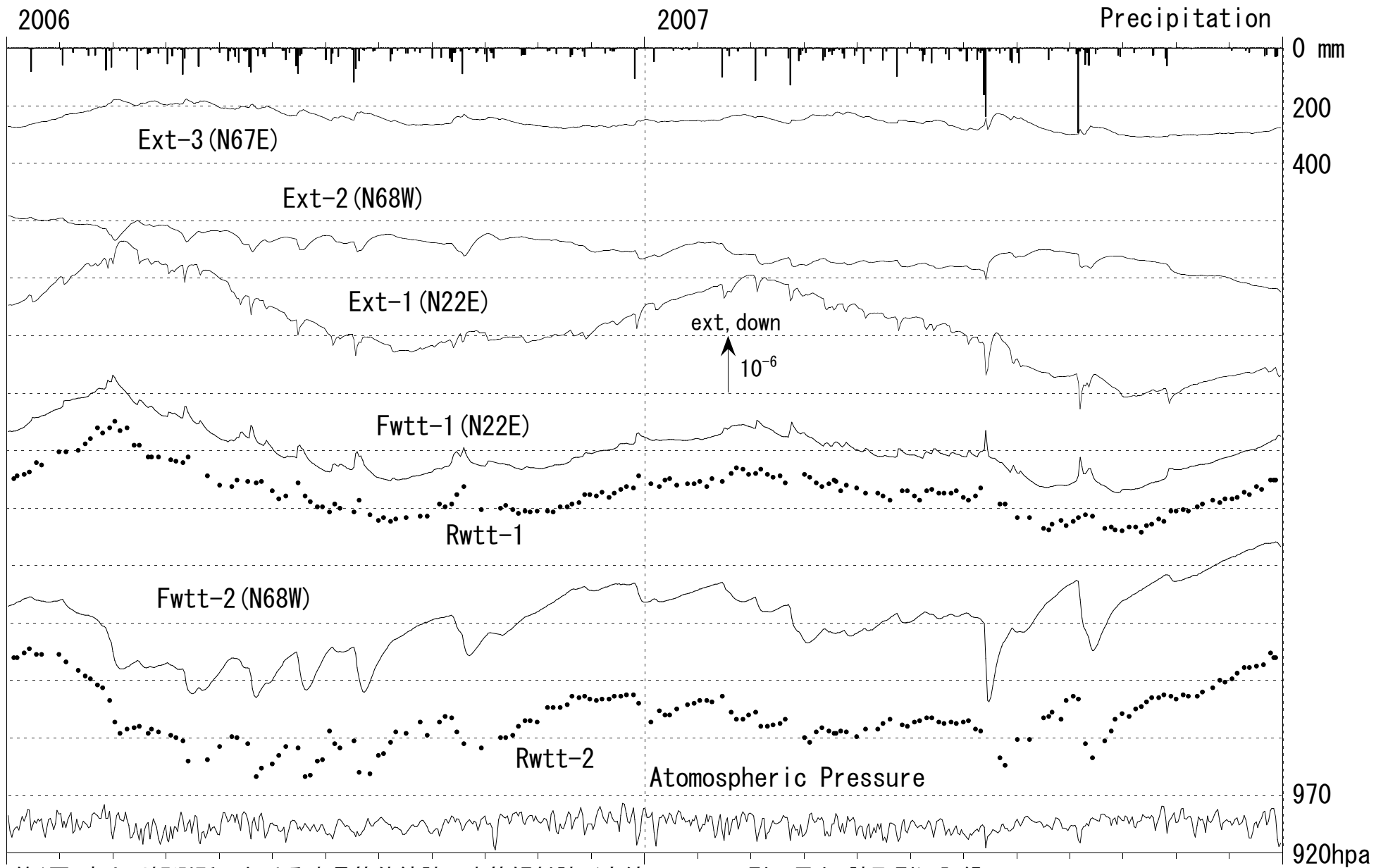
東京大学地震研究所, 地震地殻変動観測センター
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

前報⁽¹⁾に引き続き富士川観測所における2006年から2007年の地殻変動観測結果について報告する。第1図は水晶管伸縮計 (Ext), フロート型水管傾斜計 (F-Wtt), 気圧の日平均値, 読取型水管傾斜計 (R-Wtt) の読取値と, 日雨量を示す。例年と同様に記録の随所に季節変化・降雨の影響が見られるが特に大きな変動は見うけられない。

第2図に観測当初1970年から2007年までの水晶管伸縮計の日平均値と日雨量を示す。1995年頃より安定した動きをしていたが, 2003年頃より Ext-2 の縮み・Ext-3 の伸びの傾向は続いている。第3図は読取型水管傾斜計の読取値と日雨量を, 第4図には読取型水管傾斜計の月平均値とその12ヶ月移動平均値と月別雨量を示す。第5図には読取型水管傾斜計の移動平均値に基づく傾動ベクトル図を示す。観測当初より現在に至るまで, 北東・南西への掘削方向への揺らぎを伴いながらの南東方向への傾動が続いている。1999年頃よりの比較的緩やかな傾動となっている。

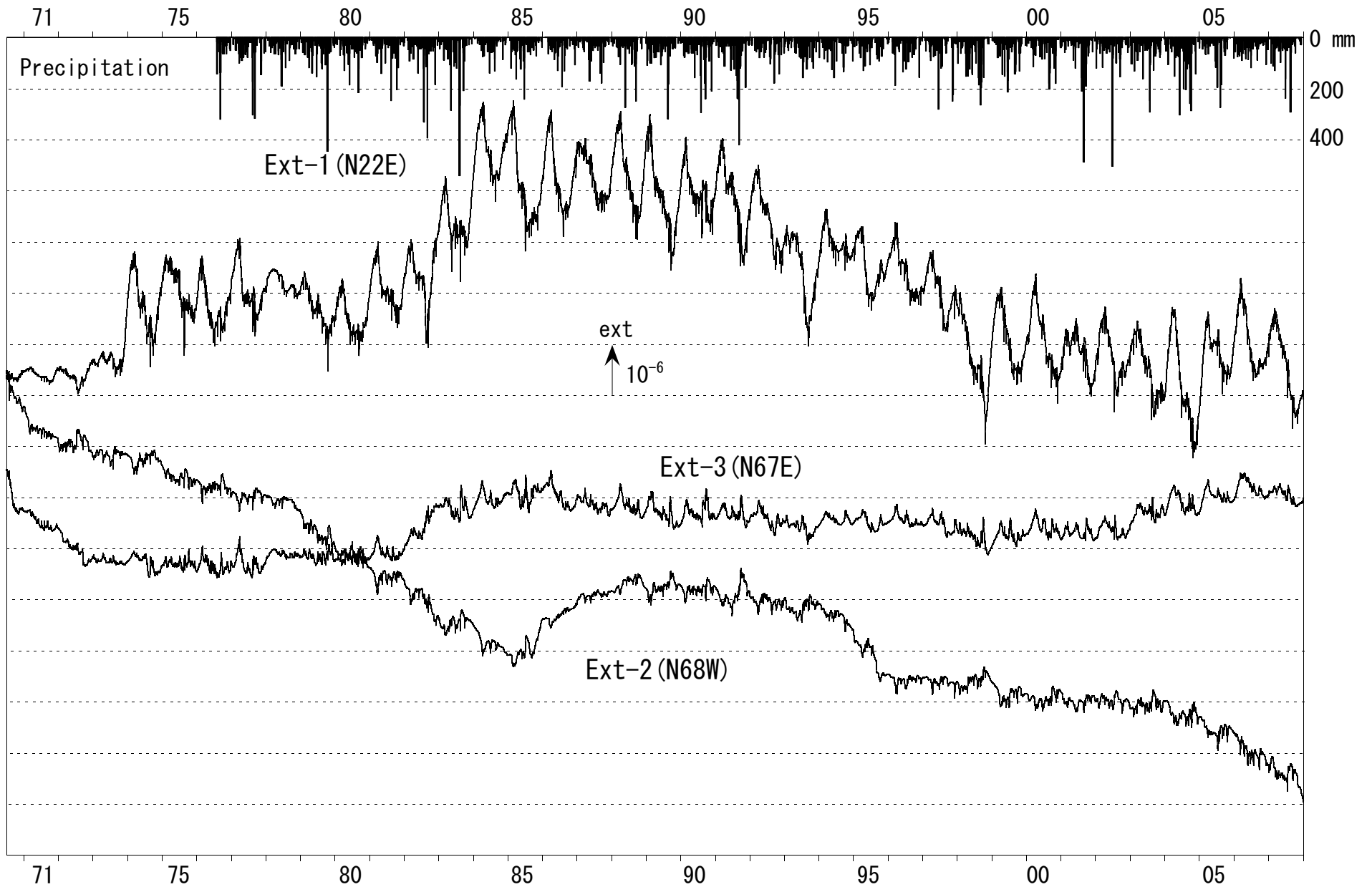
参考文献

1) 東京大学地震研究所 地震地殻変動観測センター富士川地殻変動観測所: 富士川・駿河湾地方における地殻変動観測 (その31), 連絡会報78 (2007年), 340-345.

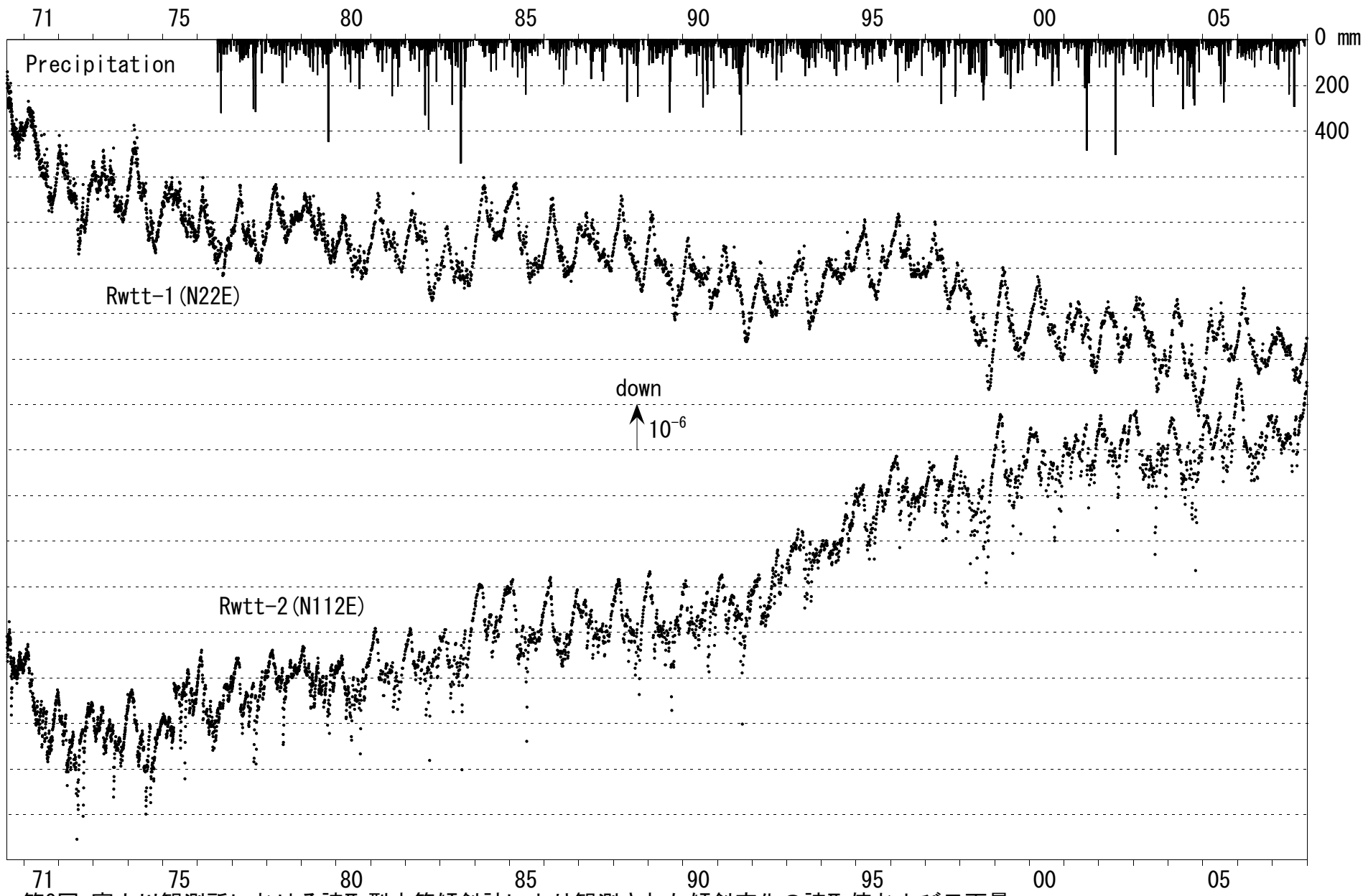


第1図 富士川観測所における水晶管伸縮計・水管傾斜計（実線=フロート型・黒丸=読取型）記録、
気圧の日平均記録および日降雨量（2006, 2007年）

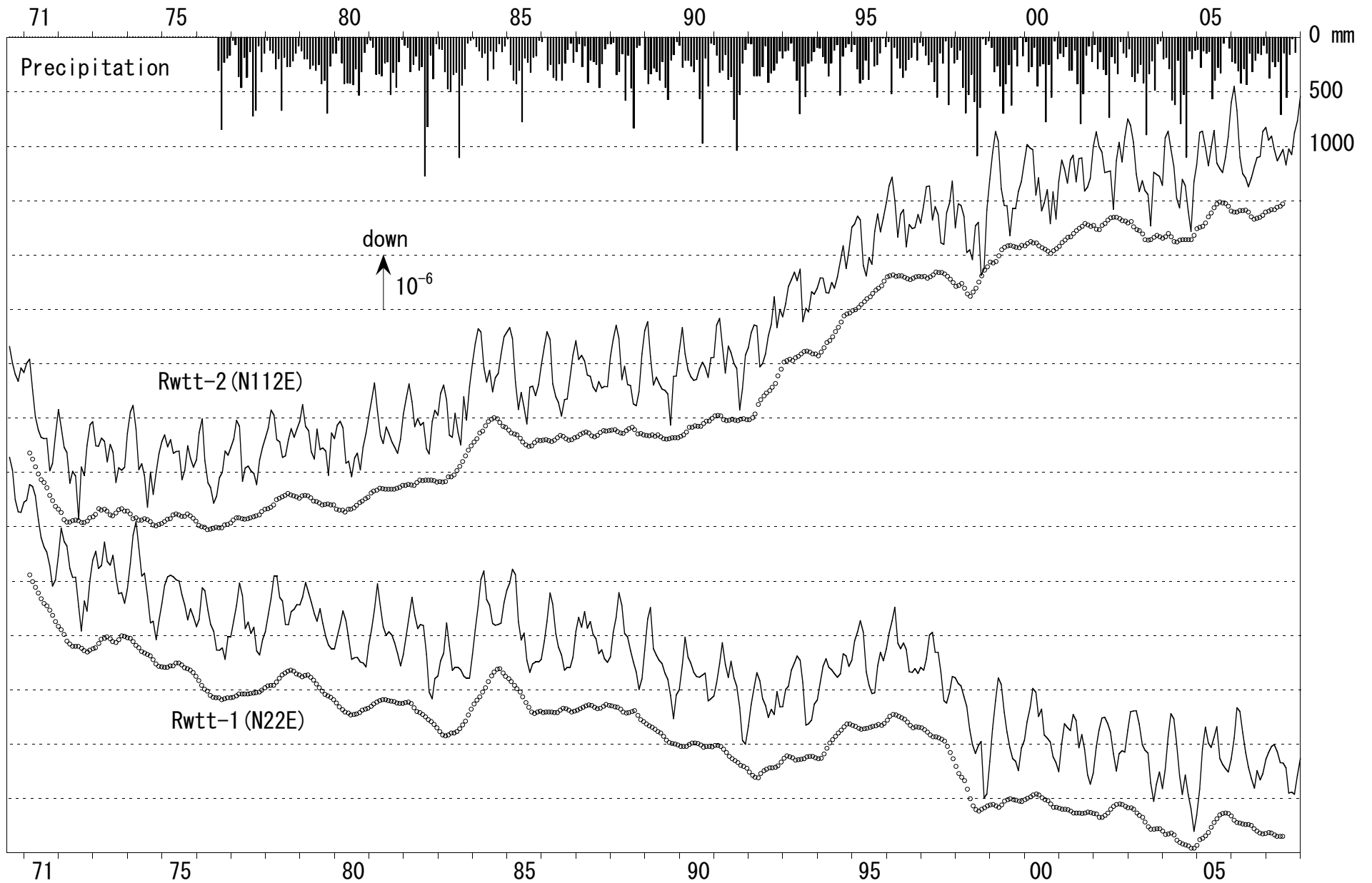
Fig.1 The earth's strain, tilt (solid=float type WTT, dots=reading type WTT), atmospheric pressure
(daily mean) and daily precipitation at the Fujigawa observatory in 2006-2007.



第2図 富士川観測所における水晶管伸縮計により観測された歪の日平均値の変化及び日雨量
 Fig2 Daily mean strain data observed by extensometers and precipitation data



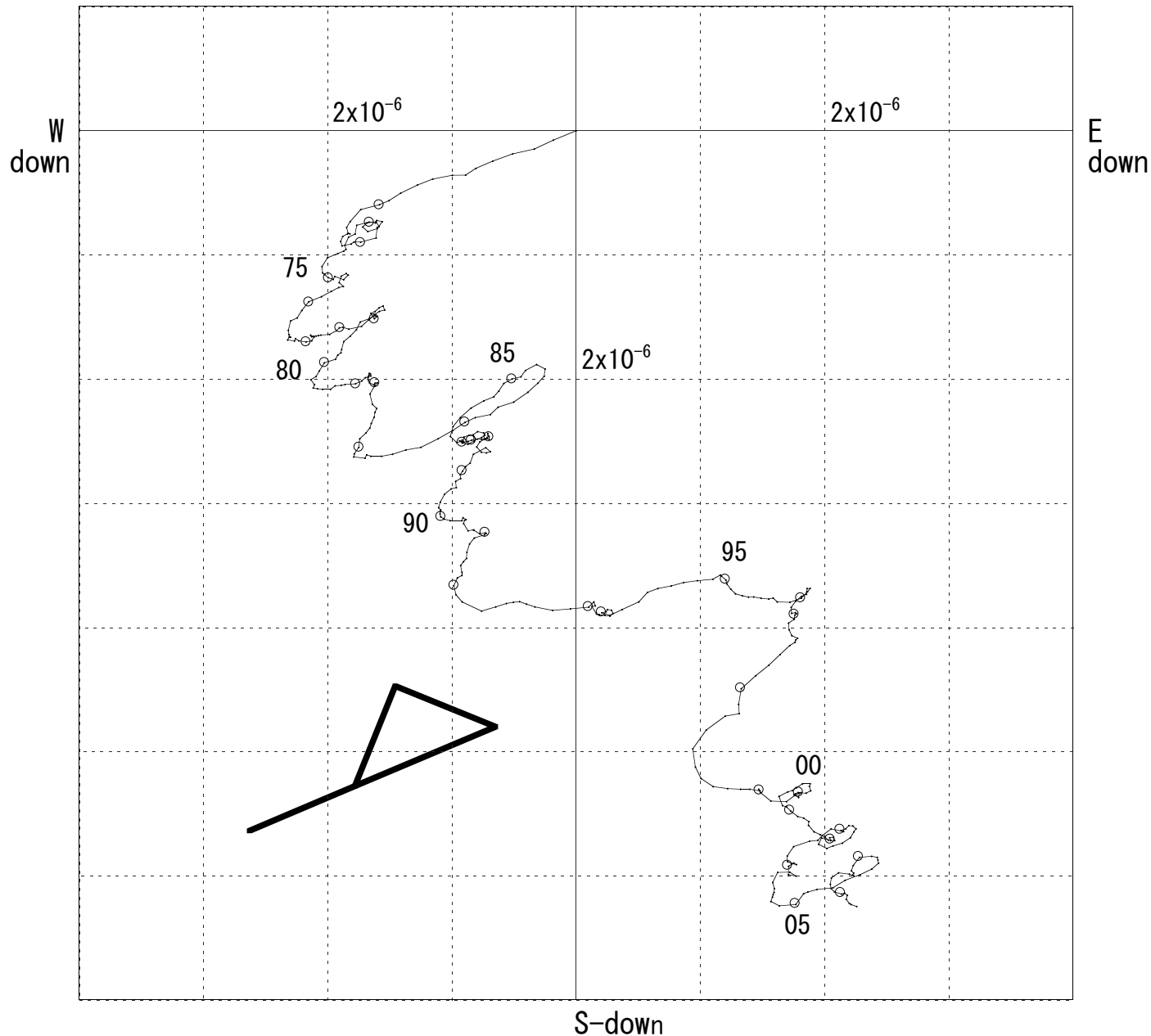
第3図 富士川観測所における読取型水管傾斜計により観測された傾斜変化の読取値および日雨量
 Fig. 3 Daily mean tilt data observed water-tube tiltmeters and daily precipitation data



第4図 読取型水管傾斜計による累積傾斜変化 (□=12ヶ月移動平均値・実線=月平均値) および月別雨量
 Fig. 4 Cumulative tilt change by reading type WTT (□=12month's running mean, solid line=monthly mean)

1970. 7-2007. 7

N-down



第5図 読取型水管傾斜計による永年傾動ベクトル (12ヶ月移動平均値)
Fig.5 Vectorial presentation of filtered secular change in the ground tilt